



# 会報

第19号  
平成3年9月

法人 北海道美術館協力会  
札幌市中央区北1条西17丁目 電話011-644-4025



北海道立近代美術館蔵

新収蔵品紹介

## デイル・チフーリ「海の形」

デイル・チフーリは1941年生まれのアメリカのガラス作家。ヴェネツィアン・グラスの本場、イタリアのムラノ島にも留学し、宙吹きによる伸びやかなフォルムと多彩な色のヴァリエーションを追究してきた。

この作品は1981年以来制作を続けている「海の形」

シリーズの一作。イソギンチャクのようにゆらゆらとひだを震わせ、伸び縮みするような姿はいかにも海の生き物らしい。波打つような縁の形は、成形の際にリブ付きの金具にガラスを吹き込むことで得られた。無数に連なる糸状の装飾は、高速で回転する器に細い色ガラス棒を巻きつけたものである。

# 感動が、またひとつ大きくなる。



美術館完成予想図

## 美術が近くなった。

道立5館目の帯広美術館が、地域住民の熱い期待に応え9月22日晴れやかにオープンする。

その新生、北海道立帯広美術館にスポットを当ててみた。

### ●自然環境にマッチした近代建築

札幌の近代美術館、三岸好太郎美術館、旭川美術館、函館美術館について、5番目の道立美術館が十勝平野の中心、道東の帯広市に9月22日オープンする。

この美術館は、市の中央部にあたる緑ヶ丘公園の一角、帯広百年記念館や児童会館に隣接する文化ゾーンに平成元年10月着工、本年3月竣工したものである。

緑の多い周囲の自然環境と融合した明るく近代的な建物は、平家建延床面積2,500m<sup>2</sup>で、ブリッジでつなぐ主展示室2部屋、常設展示室1部屋、視聴覚設備を整えた講堂、開放的なロビーのほか喫茶コーナーやミュージアムショップのコーナーも用意されている。

### ●すぐれた作品の収集と展示

収集作品は、道東ゆかりの代表的な作家の作品や近現代の版画を中心としたプリントアートをメインとしている。

主展示室では国内外のすぐれた作品を紹介する特別展、道東ゆかりの作家やプリントアートに焦点をあわせた企画展、道立美術館の所蔵作品による企画展を開催することとしている。

また、常設展示室では館の所蔵作品をさまざまな角度からのテーマ展として常時開催することになっている。

### ●開館を飾る特別企画展

本年度の特別企画展は、開館記念展として印象派以前の作品によりフランス19世紀絵画の流れを概観する「フランス19世紀絵画展」が9月22日から11月3日まで、江戸時代後期

における復製芸術の美の世界を通じて江戸庶民のエネルギーを探る「江戸のプリントアート展」が11月9日から12月22日まで開催される。

なお、常設展示室では、「フランス19世紀絵画展」開催期間中は「新収蔵品展」が、「江戸のプリントアート展」開催期間中は「岡部昌生展」が開催される。

この間、特別展セミナー・ビデオ上映会・講演会・トークショー・映画会が予定されている。

### ●地域の熱意が目標突破

北海道立帯広美術館建設協力会では、昭和63年11月から美術館に絵を贈るために募金運動を開始したが、本年3月末には目標額の5,000万円を突破した。

これは、住民や企業の帯広美術館に対する熱い期待のあらわれといえよう。

同会では、道の収蔵方針に従い贈呈作品を選定し購入することとしているが、版画を中心にデザイン・油彩・水彩など多くの作品が寄贈される見通しで、市民の期待も膨らんでいる。

### ●ボランティア登録者も200名を越す

美術館では、ライブラリー（資料の収集・整理）、ミュージアムショップ、ティーラウンジで活動するボランティアを募集していたが、これも予定の100人を上回り200人を突破した。

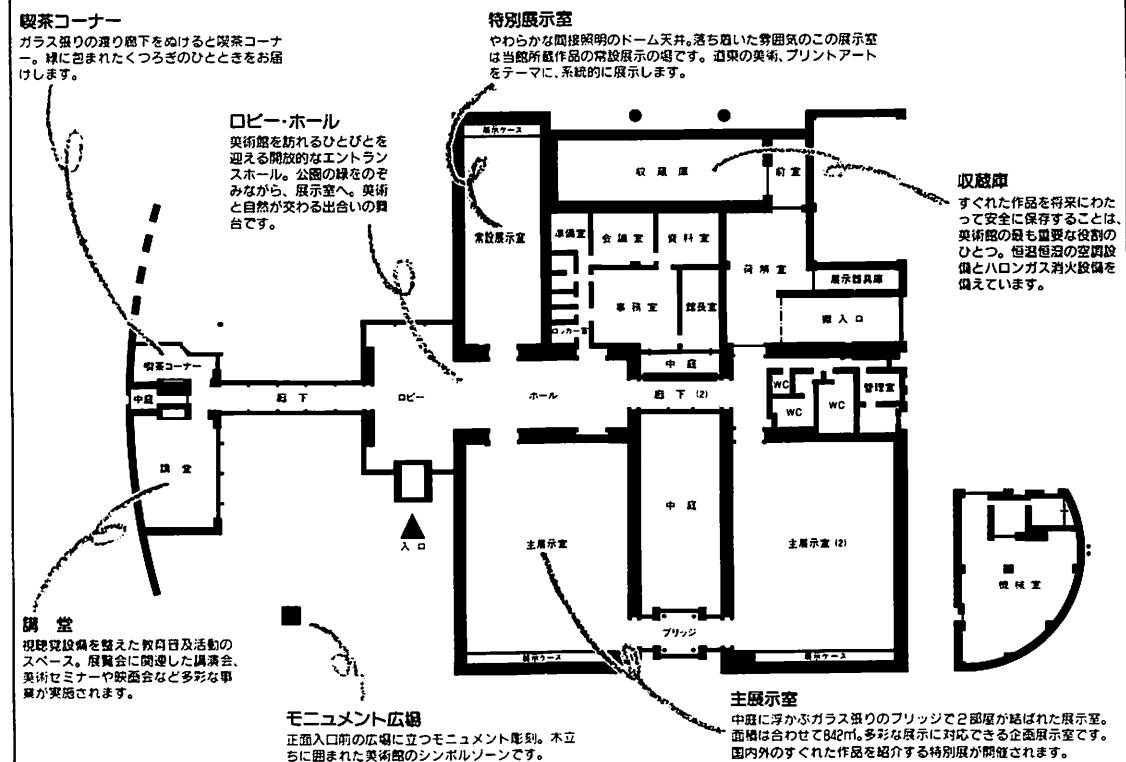
同館では、分担して全員が活動に参加してもらうようにしていきたいと話しているが、このボランティアグループの自主的活動に大きな期待が寄せられている。

### ●地域の芸術・文化の拠点として

美術館は豊かな情操と個性をはぐくむ創造の場であり、誰もが楽しみながら学ぶ知的なスペースでもある。

住民の生涯学習に対する意欲が高まるなかで、美術館はますます重要な位置を占めることになっていくものと考えられる。

芸術・文化に寄せる地域の高い関心、熱い期待、それらに応えるセンターブルームを目指し、開館まで秒読みに入ったスタッフは館長を先頭に今エンジン、フル回転である。



# information

—楽しみながら学ぶ新企画—

## ミュージアム・スクール'91

北海道立近代美術館の夏のイベントとして本年度は「ミュージアム・スクール'91」を開催した。

当協力会も主催者として準備段階から企画等にも参画したが、とりわけボランティアの活動がめざましく、イベントを成功に導く牽引となった。

7月30、31日は小学1~3年生、8月2、3日は小学4~6年生の子どもと親を対象に、展覧会を見たり、音楽をきいたり、作品をつくりながら楽しく美術を学んでもらおうという企画である。

1日目は、(アート・レッスン) 色や形、絵の組立てなどについての学習。子どもたちは、これくしょん・ぎゅらりーで絵を見ながら考え、新しい発見をした。

また、午後からは(絵本シアター) 「パリの日本人画



家・フジタツグハル」「ひぐまのあき」の2本のストライドによる物語を観賞、続いてモーツアルト、ドビッシーの曲を聞きながら(ミュージアム・コンサート) 美術と音楽のつながりを耳と目で楽しんだ。

2日目は、(アート・ワークショップ) 風で動く彫刻の話を聞き、実際に風で動く作品制作に挑戦、戸外に持ち出した作品が動きだすと、あちこちに歓声がわいていた。

お母さんたちは、(ミュージアム・サロン) 美術館の活動について学芸員と気楽に話し合うひとときをもち、それぞれ新しい発見をしたのではなかろうか。

低・高学年とも各40組の定員であったが申込が多数のため抽選で参加者を決定、絵本シアターとミュージアム・コンサートのみ応募者全員に参加してもらった。

この事業は「見る」「聞く」「作る」「考える」といった視点から児童を対象にした美術教育をすすめようというもので、今後も継続的に実施することが予定されている。



### 美術館協会の事業に対する 提言等をお待ちしています。

当協力会は明年発足15周年を迎えます。その間下記のような事業を行い現在も事業計画に基づき実施しているところですが、これらの事業についてご意見等がありましたらお寄せ願えればと思います。

また、会員数は年々増加をみているものの微増であり、飛躍的な増伸を目指して努力しているところであります。その方法等についてもご指摘の点があれば、ご遠慮なくお申しください。

### 記

1. 会員の拡充について
2. 会員証利用による美術展観覧について
3. 婦人美術講座について
4. 美術研修旅行について
5. 会報等広報活動について
6. 売店の販売活動について
7. ボランティア活動について
8. 会員の集いについて
9. その他

# ボランティアの活動

## ボランティアの あまり知られていない活動

### 層の深いボランティア活動

事務局にはよく「美術館のボランティア活動をしたいんですが・・・」という申込があります。事務局としては、婦人美術講座や各部門の専門研修を受けなければならないことなどを説明して了解していただいております。また、「どんな活動で、どのくらいの時間やるのですか・・・」という質問もあります。これには皆さんが承知のとおり、売店・解説・資料の各部門があり週1回から月1回程度約半日くらいの活動になりますと答えています。

しかし、これはボランティア活動の表層の部分ということができるでしょう。ボランティア活動は何層もの深い部分まで及んでいるのです。

これらを逐一的に云うことはできませんが、部門によっても、入によってもケースバイケースということになるでしょうか。

### 厳しい自己開発

ボランティアは美術館のひとつの「顔」として活動をしております。来館者は「ボランティア活動による売店は・・・」とは言いません。「美術館の売店は・・・」「美術館の解説は・・・」「美術館の資料は・・・」という受け止め方をします。ですから、美術館の品位を損なわないよう、より高い資質と実践が要求されます。そのために研修は欠くことのできないもので、美術に関する知識、接客の方法、包装の仕方、解説練習、資料の収集・保存法等々、自己開発に努めなければなりませんし、後進の指導にもあたらなければなりません。厳しい研修に涙を流すことも少なくないのです。

## 婦人美術講座終盤に入る

本年度の婦人美術講座は330人余の応募があり、その中から抽選により50名を受講者に決定しましたが、4月25日の開講以来皆さん熱心に受講を続けております。

9月5日現在では、皆勤者が23名ですが、残すところは全20講座のうち3講座、全員が8割以上の出席率で各部の専門研修に進まるよう期待されています。

9月26日には閉講の予定になっております。

### ボランティアは自主的活動

ボランティアは協力会組織のボランティア部に位置づけられていますが自主的な活動グループもあります。

従って、運営は自分たちでやっていかなければなりません。全体の運営に係わる委員会、各部の部門会、さらには各部の専門分野での委員会・班長会などが目白押しであります。

また、各部門ではそれぞれ広報紙を発行し部員間の疎通を図ることに努めています。

### イベントには欠かせない存在

「ミュージアム・スクール」「子どもと親の美術館」「絵本シアター」など美術館の行事、「会員のつどい」やそれに伴う協力会の業務などにボランティアの活動は欠かせないものとなっています。これらは単純な手伝いに留まらず、企画・製作のほかりハーサルを必要とするものもあり、本番までには多くの時間をかけるものもあります。各部門での本来活動のほかに、こういった分野でも協力し沢山の足跡を残してきています。

### 活動範囲はさらに深く

昨年は、皇太子殿下の行啓にも大勢のボランティアが協力しました。テレビ番組があれば出演もしなくてはなりません。マスコミの取材があればそちらに赴き、他のボランティアグループが来館すればその対応に追われます。特別展の開催が近づけばポスターを配布し、美術館の年間スケジュールが決まれば小中学校P T Aへの美術館活動P Rと、ボランティアの活動範囲は一般には知らない深い層まで及んでおります。



# .....美術館ニュース

## 北海道立近代美術館

10月5日（土）から11月24日（日）まで、「絢爛の望（ながめ）—近代日本画の花鳥」展が開催されます。

花鳥画は、古くから日本の絵画において、山水画・人物画とならぶ主要画題とされ、自然親和的な美意識を基底として、装飾的な絵画世界が描出されてきました。桃山時代の金碧障壁画や江戸時代の琳派芸術にみる豊麗豪華な花鳥画などは、時代の活気を受けてその流れが遅く発展したものといえましょう。

明治以降、日本画の大筋は洋画の写実的表現や三次元的空间を取り込むことで近代化を果たしていくますが、花鳥画においては装飾的表現も重要な要素として受け継がれ、近代造形のうちに昇華されています。

本展は、新日本画創造における模索を、花鳥画にあらわれた姿を通して考察し、またそれによって近代花鳥画の性格も明らかにしようとするのですが、とりわけ装飾的表現の展開に焦点をあてました。

河鍋暁斎、滝和亭、幸野模嶺ら明治画壇の代表的画家の作品をはじめ、横山大観、菱田春草、川端龍子、竹内栖鳳ら、新日本画創造に大きな足跡を残した画家たちの、院展・官展出品作を中心に、大画面の花鳥画作品を展示いたします。伝統と新たな造形感覚の上に花開いた絢爛たる花鳥の世界をご堪能ください。

## 北海道立三岸好太郎美術館

三岸好太郎美術館では9月29日（日）まで、第3期所蔵品展「線描の魅力」を開催しています。

10年あまりの短い画業の中でもまぐるしく作風を変遷させた三岸好太郎でしたが、昭和8（1933）年には「ひっかき」の技法を用いた前衛的な作品を制作しました。それは前年末の「巴里東京新興美術同盟展」で紹介されたフランス絵画の最新の動向にも刺激されたもので、独自の表現を求めて新しい絵画の創造を模索していた彼の試みの一つだったといえます。

三岸の「ひっかき」の技法は、下塗りのうえに絵具を厚めに施し、生乾きのうちに釘や金属棒などの尖端でひっかいて絵具を搔き取るもので、下地の色が、筆による描とは異なる独特な線条となってあらわれている実験的な

また、「これくしょん・ぎゃらりい」では、11月24日（日）まで、「北の個性派—風土からの造形—」を開催しています。

開拓により新たな歴史を展開してきた北海道では、雄大な自然を背景に、伝統にとらわれない自由な精神と進取の気風が育まれました。

本展は、こうした北の風土を強く意識し、それを独自の造形世界に昇華させた岩橋英遠、国松登、難波田龍起、神田日勝、木田金次郎、北岡文雄、米坂ヒデノリ、砂沢ビッキら、8人の作家をとりあげ、その作品65点を展覧するものです。



河鍋暁斎「花鳥図」(1881年) 東京国立博物館蔵

手法です。

「線描の魅力」では、こうした「ひっかき」の技法をいかした「オーケストラ」「花」「乳首」などの繊細な油彩や水彩を紹介するとともに、三岸の自由な造形の精神を示す多彩な素描をも通して、彼の線描表現の魅力に触れてもらいます。このほか、初期の人物像や風景、「道化」のシリーズ、「マリオネット」「飛ぶ蝶」など、代表作を中心に画業の展開をおって展示しています。

つづいて10月3日（木）から11月24日（日）まで、特別展「挿絵の魅力」を開催します。大正から昭和初期にかけては、画家たちによる挿絵の芸術性が注目された時期でした。三岸好太郎も挿絵、装丁、カット等さまざまに手がけています。彼と関係の深かった春陽会の画家たちを中心とした挿絵や装丁などをあわせて紹介し、三岸のこの領域での仕事をあらためて認識しようとするものです。

# 美術館ニュース

## 北海道立旭川美術館

柳宗悦（1889～1961）は、日本を代表する思想家の人であり、またその思想のすぐれた実践者でした。彼の業績の中で最も大きなものは、民芸運動を提唱、実践したことです。彼は、大正末から昭和の初めにかけて、従来日本の美術工芸史の中で見すごされてきた無名の民衆の手による日常生活の中の雑器類や手工芸にすぐれた美を見出し、これを民芸（民衆的工芸）と名付けて、新しい工芸運動を展開しました。

仏教思想、特に浄土信仰の教理に影響を受けた彼の美学は、民衆生活の中に美の浄土を探るもので、民芸運動は、手仕事の意義と創造性を、生活文化として高めようとしたものといえます。

彼は東北地方から沖縄に至る日本全国、それに朝鮮、台湾各地を踏査して、すぐれた手仕事の残る地方を多数見出し、その美を広く知らしめるとともに、保護と存続を唱えました。また、自らそれらの民芸を収集し、多くの人々の賛同と協力を得て、昭和11年（1936）には日本民芸館を建設しました。

また、この民芸運動の中からすぐれた作家が輩出し、日本の近代工芸の大きな潮流となっていきました。

本展は、柳宗悦が収集した朝鮮、日本各地の民陶、陶器、木工芸、染織などとともに、浜田庄司、河井寛次郎、バーナード・リーチ、浅川伯教、芹沢鈴介、棟方志功、黒田辰秋、富本憲吉ら民芸運動の主要な作家の作品をあわせて展示し、総計50点の作品によって民芸の美と心を紹介するものです。



黒田辰秋「神代櫻彫文飾棚」(1974)  
北海道立旭川美術館蔵

## 財団法人札幌彫刻美術館

### 第5回 本郷新賞

戦後、日本における野外彫刻の第一人者として活躍した故本郷新の遺志により創設した『本郷新賞』は、今年で5回を数え、あわせて当開館10周年にあたる。

今回対象となった作品は、1989～'90年の2年間に日本全国の公共空間に設置された野外彫刻。全国の美術関係者120名の推薦委員から推薦された候補作品は22点であった。候補作品は、選考委員による厳正な審査を受け、東京都千代田区・紀尾井町ビル前庭に設置された、蓑田哲日児氏制作の石彫「Commencement and Peace」が受賞作となった。タイトルを邦訳すれば、「平和への出発」あるいは「平和への歩み」となる。黒御影石による12t高さ7mもある大きな作品。作家は、この作品について、「便利とスピード、物質中心の現在に忘れられた、真の心の平和を原点にして、21世紀に向けての平和への出発を表現しようとした」と語っている。

## 北海道立函館美術館

9月29日～11月3日は、「ルネ・ラリックから現代まで」と題して、ガラス工芸の展覧会を行ないます。この展覧会では、20世紀初頭ガラスデザイナーとして人気を博したルネ・ラリックを中心にして、彼が活躍したアール・デコ期の作品から、現代にいたるガラス工芸史の流れを、約100点の名品によって紹介します。

11月10日～12月8日は、「子どもの本・1920年代」を開催します。1920年代という2つの世界大戦にはさまれた時代に、数多くの子供の絵本が出版されました。モダニズムの流れをうけたこれらの絵本には、子供の夢が個性あふれる様々な表現で描かれています。また、同時開催として、「インドネシアの現代版画展」と題し、インドネシアの現代版画の動向を紹介します。

1月5日～3月26日の期間は、19世紀末、パリの街角を賑わしたボスター群により、当時のパリの雰囲気を再現する「パリのエスプリ」展と、自由美術協会で注目されながら、30才で自殺した深井克美の幻想表現を紹介する「深井克美—幻想の世界」の2つの展覧会を行なう予定です。



「秋のおとずれ」寺内萬治郎  
「子どもの本・1920年代」より

受賞作は、大地からエネルギーが天空へ螺旋をえがきながら上昇していくような有機的なフォルムを持ち、野外にあって光と影による微妙な変化が、無機的な都市空間に生命感を与えている。ビジネス街という都市空間に設置された作品が受賞したのは、今回が初めてである。都市における高層ビル化の進んだ現代、空間にうるおいを与える彫刻の設置は益々増え、そういう意味での野外彫刻への期待は大きいといえよう。

受賞にあたって、9月11日(木)贈呈式・「第5回本郷新賞受賞記念蓑田哲日児彫刻展」開会式及び、選考委員匠秀天氏による記念講演会「野外彫刻の昨日、今日」が行なわれる。彫刻展は、9月12日(木)～10月13日(日)まで開催される。



## 会員の動き

### 国内美術研修旅行

# 日本海に沈む夕日に輝く北陸の美術館を訪ねて —北陸路美術の旅—

太田 節子

小雨降る小牧空港に。早速バスに乗り目的地の福井県立美術館へ。61年に増改築をしたそうで彫刻がなにげなくレイアウトされているロビー、そのスペースの広さに驚く。52年の開設以来10年間で収集した美術品約750点と伺いました。主なコレクションは「葛飾北斎」「横山大観」等。常設展覧会として「黒潮の画普田中一村」展も行われていた。1日目の宿泊地金沢に入り「じぶに料理」を頂き明日の空を気にかけながら1日目を終る。

翌朝雨上りのためか緑の美しい兼六園へ。

散策を楽しんだ後石川県立美術館に。

ここは58年に開設、特別名勝の兼六園周辺文化ゾーンの中心に位置し成選閣、県立能楽文化会館、伝統産業工芸館等、他にも数多くの明治建築が並ぶ中にあり和風好みの建築。常設展示では江戸時代までの古美術コーナー、明治以降現代までの近、現代コーナー等の構成になり特に古美術コーナーの江戸17世紀京焼の祖「野々村仁清作色絵雉香炉」と今年5月に寄附をうけた「色絵雌雉炉」等の古九谷始め336点その他漆工、染織、金工の所蔵品が展示されていました。この美術館は石川県の芸術的個性である工芸に特色をもつ美術館作りを目指しているそうです。

午後は市立中村記念美術館。金沢の故中村栄俊氏の収集品の公開を目的に41年5月中村記念館として開館、51年市が寄贈をうけ館蔵品は中村氏が茶道を嗜んだことから茶道の古美術品が主にあります。休憩室で抹茶を頂きくつろいだ後小松市の宮本三郎記念美術館へ。「花と裸婦」「女神たちの復活」等女性を描いた作品が多い。2日目の宿泊地富山に向う。6月1日2日は富山で一番賑やかなお祭りに出合い夕食後少々疲れた体で夜店をぶらつく。

今日は富山県立美術館。富山市城南公園の一角にミラー

ガラスと白御影石の壁面に囲まれたシャープな建物が見えて来た。常設展示室ではピカソの「肘かけ椅子の女」、ミロの「パイプを吸う男」等に感動をうけ小雨の降る空を恨めしく見上げ「百河豚美術館」へ。

設立者の「青柳政二」氏が長年かかって収集した古美術の名品と建物、基金の寄附により開設をしたので本館はピラミッド形に設計され人口池に立つ姿は湖面に浮ぶ観音菩薩像と共に見事なものでした。展示室には陶磁器、絵画、工芸、彫刻が展示され楽しめるように工夫されて居ます。最後の目的地新潟美術館へ。60年開館、今までの美術館の中で一番新しい。堀と柳のある西大畠公園との調和の中で市民に愛され親まれ開かれた美術館を目指し「見る、作る、語る」をモットーに実現できる様配慮されている。

市民ギャラリーは美術創作活動発表の場として個展やグループ展など大変な賑わいでした。6月3日朝から日差しが強く暑くなりそう。新潟美術館に向う。

説明によると42年にオープンして以来美術の分野で躍進した県人作家の情熱の「あかし」を集めたそうで「900点」にも及び国内でも有数なコレクションになりつつあるとのことです。始めての「美術の旅」でしたが素的な旅でした。



# ESSAY

## 竹刀と美術



矢澤 信彦

今日此頃は絵筆が竹刀（しない）に代り週二～三回は、中央体育館の朝稽古を楽しみシャワーで汗を流し街に出る。

その時々の気分で森林浴場を選んで行くが、なんといつても朝日を真正面に受けた近代美術館前庭のベンチでぼけーっとして噴水の放出の変化を暫く眺めているのがなんともいえぬさわやか気分になる。又大きなモビールの動きも心を落ちつかせて呉れる。

思いが先刻の竹刀と美術に結びつく。

指導を受けた先生「基本を大切に、大切に」「一生懸命にやればそれでいいんだ」なるほど立派に出来たような作品も裏に潜むデッサン力がものをいう。手先、手抜きの土台じゃあ、如何に格好良く、あでやかでも素直な心で観る人々には絵画であれ剣道であれそっぽむくだらうなあ……。

陽光を美しく受けた館を見直し、そろそろスペイン絵画展へと歩を踏めば靴底を通し芝生の柔かさを感じて嬉しい心が再び与えられる。

絵は私の対話の糧。批評や解説の助けを借りて、作者の語りかけるものに耳をます。勝手な解釈で返事も試みる。私の至福の時、時代を映す画面は歴史の教科書。特に聖母子や祭壇画は有難い。小学校二年生の時、『ブランダースの犬』に涙し、ルーベンスを、彼の『キリスト降架』を知る。朝日の名画の旅で同じ経験を持つ高校生が居た事や、つい最近もボランティア仲間と『キリスト降架』で話が弾み、彼女はルーベンスの画集を求めたと言う。絵の話をする時、年令も性別も国籍も職業も問われない。尊敬するドイツの温泉医学の先生方やチャーチル会の会員と、Sマークティーニやボントルモの『受胎告知』の話をるのはこの上もなく楽しい。日々の糧の主、天との対話も弾む。

## 絵と私



阿岸 蘭子

15年前、当時の東ドイツへ「ハメグリ」の旅を明日にして、パリで待望のオランジュリー美術館を訪ねた。

部屋の四面いっぱいに描かれていたモネの四季の水蓮を、感激しながら寄つて離れて何巡も鑑賞したあとで、ご案内下さったパリ留学中の合唱指導者・宍戸悟郎先生と意気投合し「此處でゆっくりしましょう」と、部屋の中央にある、織毬と同じアイボリー色の円型椅子に座して、お互に自然と寛黙の人となる。

幸運にも鑑賞者は2名。長い沈黙のうちに、いつの間にか四面の水蓮から無色の光が無数に走り、明るくなつたように思えた時、実に美しい音楽が聴えてきて涙が止まらなくなつた。離れて座つておられた宍戸先生の目も赤い。「光と音楽」を同時に感じたのは不思議ですね、との短い会話だけで通り抜けたチュイルリー公園の夕暮れが忘れられない。

## 光と音楽



藤田 道子

道立近代美術館が今の場所にできて間もなくのことだったと思う。本物のミレーの絵が見えるということ緊張して出かけた。今まで印刷でしか見たことのない絵に出会えたことの感動と共に絵が思いの外小さかったことに驚いた記憶がある。

今年中学生になった娘が、美術の定期試験の勉強をしながら「この人の絵、美術館にあるね。」と言う。私は逆に本物を先に見ているのだ。子供達にとっては生まれた時から近くにある所で、小学校の校長先生の絵や同級生の御祖母様の絵がある日常の中の美術館なのだ。

立派な美術館を持つ街で子育てができる幸せを感じたが、同時に、新しい美術館ができた時の感動を次代に伝えなければ『あるのがあたりまえ』の文化を守っていくことが難しくなるのではないかと思った。

## 感動を次代に



矢吹 信子

# 会員の動き

## 豊かな明日にむけて

### —会員の輪を拡げることがわたしたちの希です。—

希

美術館協力会は、来年の6月17日で創立以来満15周年を迎えることになります。

創立時（昭和52年）は販売活動をするメンバー15名のボランティア会員によってスタートしたのです。

その後多くの方に賛同をいただき、社団法人となった昭和54年には会員合計342人となりました。さらに会員数は増加の一途をたどって現在（6月末現在）では1,407人になっており、大変喜ばしいことあります。

しかし、より充実した活動を展開していくためにはまだ十分な会員数とは云えません。

会員数の中には会費納入が滞っている潜在退会員が20%から30%おられます。そのことを計算に入れながら個人会員2,000人、（現在1,095人）法人会員150社（現在85社）を当面の目標と考えています。

この目標に向かって役員・ボランティア会員・事務局など会員の獲得に努力を重ねておりますが、さらに会員の皆さんのご協力をお願いするところです。

「豊かな明日にむけて、会員の輪を拡げることがわたしたちの希です」この呼びかけで会員募集のリーフレットも作成し、入会をお願いしております。

売店などにも置いて自由に持ち帰れるようにしておりますが、必要な場合は遠慮なく事務局に申し出ください。

個人会員の場合、ここ数年の動向をみると毎年約200人強の入会に対し半数の約100人が退会されています。この退会者に継続をお願いすることも会員数確保には大切なことかもしれません。また、法人会員が少ないのは残念なことです。経団連では企業あるいは個人が所得の1%以上を自主的に社会貢献活動に支出しようという運動「ワン・パーセントクラブ」を提唱していると聞き及んでおります。

是非私どもの公益法人にも目をむけていただきたいものだと願っております。

本年に入ってからも沢山の方に賛同をいただきました。新しい会員の皆さんを紹介します。

#### 新入会員紹介（3/1/1～3/6/30）

##### ●法人会員

###### 4月会員

北洋ジー・シー・ピー株式会社

札幌市中央区大通西3丁目11

###### 6月会員

株式会社 西武北海道 五番館西武

札幌市中央区北4条西3丁目1番地

財団法人 北海道公立学校教職員互助会

札幌市中央区北1条西6丁目2番地  
安田火災北海道ビル5F

##### ●個人会員

###### 1月会員

田井中 典子 札幌市豊平区西岡3条13丁目10-5

竹林 良之 石狩郡石狩町花川北4条4丁目

###### 2月会員

高橋 正美 札幌市南区澄川4条1丁目5-2-219

岩倉 良子 " 中央区南21条西13-2-23

三木 茂 " 西区二十四軒4条5丁目10-18

902号

寺島 寛之 " 白石区栄通18丁目8-12

諸岡 泉子 " 中央区宮の森2条17丁目13-11

寺下 富雄 " 東区北41条東2丁目3-20

鈴木 手悦 " 西区八軒3条西3丁目6-6-11

田畑 広子 札幌市豊平区高台4丁目3-4

木村 春枝 上砂川町鶴本町6区

宮崎 圭祐 岩見沢市2条東4丁目

小川 欣子 札幌市白石区東札幌2条3丁目8-12

外山 君子 " 東区東苗穂13条3丁目668-249

川村 阿左子 " 中央区南14条西17丁目1-21

池田 玲子 " 西区平和2条8丁目2-17

淡谷 良子 " 豊平区平岸2条7丁目4-17-309

丸 勝美 " 中央区伏見1-1

明道 美枝 " 中央区南8条西2丁目

織田 千鶴子 " 手稲区西宮の沢4条4丁目293-16

岩崎 めぐみ " 南区澄川4条1丁目2-34-403

兼子 幹三 " 中央区南17条西17丁目2-10-401

藤岡 節 " 東区北27条東19丁目1-23

後藤 亮子 " 中央区宮の森3条7丁目5-10

小林 耀子 江別市大麻元町192-26

###### 3月会員

内田 才田 札幌市豊平区月寒東3条18丁目12-15

池田 三枝 " 豊平区月寒東2条12丁目14-14

石田 時子 " 南区澄川3-6-3-3-921

小原 光子 " 南区石山2条6丁目7-50

畠山 司 " 中央区南6条西9丁目

札幌第一パークハイツ304

笠間 鎮 " 中央区南13条西8丁目1-22

今井 めぐみ " 北区北30条西4丁目2-10

佐直 京子 帯広市東9条南9丁目9-3

# 会員の動き

中村 セツ 札幌市豊平区西岡1条9丁目7-18  
 尾崎 千恵 " 中央区南13条西5丁目1-1-406  
 竹田 保子 " 東区北16条東8-3  
 中野 良子 " 北区北23条西4丁目  
 米沢 淑 " 豊平区豊平4条1丁目  
 宮島 京子 " 西区西町北1-4-24  
 佐藤 翠 " 北区太平4条5丁目3-5  
 一條 ゆかり 名寄市大通南9丁目3-2 井上MS 2  
 斎藤 マサエ 札幌市北区北15条西5丁目20  
 田附 清隆 " 東区東苗穂3-2 NTT東寮128  
 菊地 悅子 " 豊平区平岸1-17-2 1-501  
 原田 一也 " 東区北35条東9丁目2-27  
 小林 トミ子 " 西区琴似1条1丁目6-8-1105  
 梅田 和 " 厚別区厚別北4条4丁目11-6

## 4月会員

黒川 朝子 札幌市厚別区大谷地5-15-1-607  
 喜多 清彦 " 中央区旭ヶ丘3丁目3-18  
 山神 由理子 " 中央区北7条西12丁目13-3  
 サニー北7条MS 607  
 今井 典子 " 中央区宮の森2-15-7-5  
 林田 智子 " 中央区大通西18丁目2-7  
 飯田 ゆきえ " 中央区南2条西19丁目291-66  
 円山プリンスハイツ  
 田中 栄子 " 北区6条15丁目2-5  
 中野 一枝 " 手稲区富丘1条6丁目11-24  
 粟倉 美津子 " 豊平区北野3条1丁目5-17  
 大屋 啓子 " 白石区川下2条7丁目2-30  
 大西 節子 " 東区北20条東1丁目365  
 狹間 宣子 " 豊平区西岡1条5丁目9-22  
 古市 恒子 " 豊平区中の島1条3丁目1-9  
 永原 智恵子 " 厚別区もみじ台北1丁目13-6  
 笹川 習子 " 豊平区中の島2条2丁目  
 ラボール中の島605号

飛谷 澄江 札幌市東区北38条東8丁目3-2  
 小野江 八重子 " 中央区南7条西26丁目  
 高柳 淳子 " 南区澄川3条3丁目7-25  
 三浦 光子 " 白石区本郷通12丁目南1-24  
 神 貞子 " 豊平区美園7条7丁目3-3  
 上野 洋子 江別市大麻197-21  
 高氏 真寿美 札幌市東区北38条東8丁目3-2  
 針谷 律子 " 北区新琴似12条1丁目2-23  
 羽田 喜江 " 白石区北郷4条2丁目13-16  
 高山 千鶴子 " 中央区大通東11-24-907  
 渡辺 あつ子 " 東区北23条東19丁目4-22  
 藤田 静子 " 厚別区厚別東2条3丁目7-11-406  
 ローヤルシャトー新札幌  
 佐々木 ミサ子 " 南区真駒内曙町3丁目7-10  
 福島 陽子 " 手稲区前田6条16丁目11-5  
 佐藤 カヨ子 " 北区北27条西4丁目2-50  
 林 久恵 " 西区山の手2条8丁目1-8  
 阿部 芳子 江別市大麻東町1番地3-104  
 武部 保男 札幌市豊平区平岸2条7丁目4-17-705  
 佐藤 和子 江別市大麻高野12-4  
 田中 美津子 札幌市北区北23条西6丁目18-409  
 ミングル札幌311  
 多田 紀子 札幌市西区山の手6条7丁目3-1  
 後藤 晶子 " 南区澄川4条2丁目8-36  
 大塚 桂子 " 厚別区背葉町2丁目13-27  
 楠石 純子 " 西区福井8-12-17

中原 正則 札幌市北区新琴似10条5丁目  
 杉村 さゆり 江別市野幌東町5-8  
 杉村 富美恵 札幌市東区北11条東9丁目道住3-706  
 中曾根 遊 " 西区西野11-7-1-13  
 山藤 慶子 " 中央区旭ヶ丘1-3-36  
 笠井 好美 " 厚別区もみじ台東7丁目11-13  
 金木 邦博 " 豊平区清田9条3丁目6-18  
 室谷 智子 " 中央区南23条西14丁目3-8  
 針谷 龍宣 " 西区西野1条2丁目6-11  
 佐藤 富三郎 函館市堀川町6-20

## 5月会員

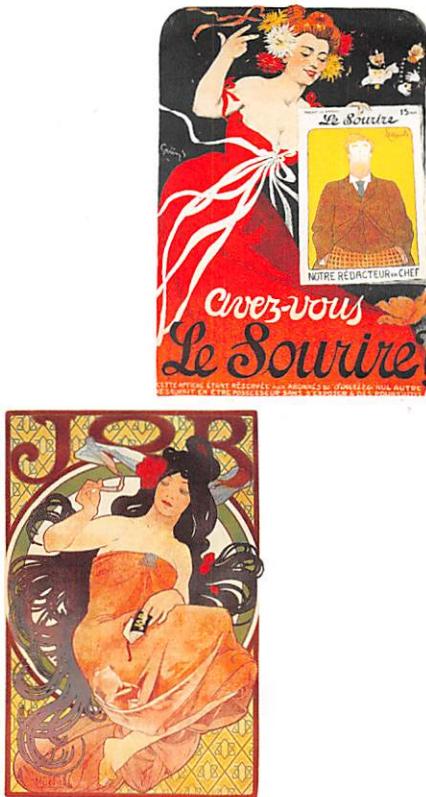
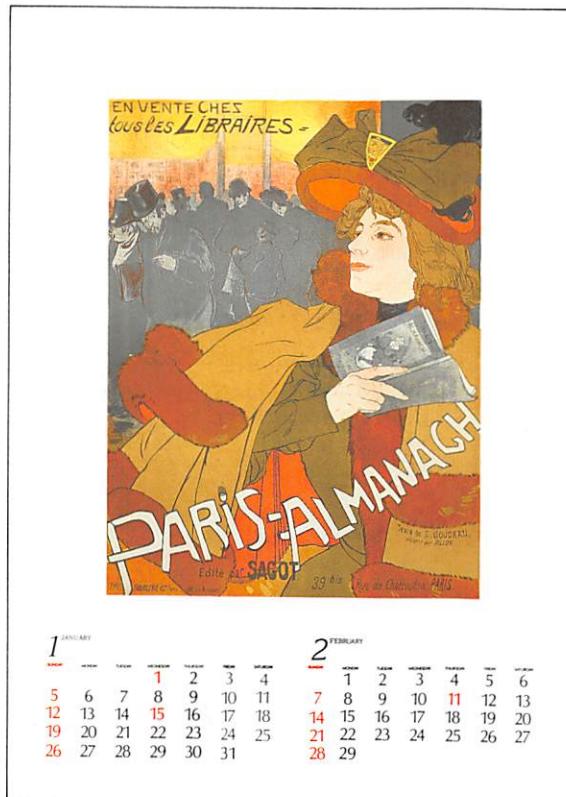
赤石 桂子 札幌市北区北7条西6丁目  
 北苑MS 1206  
 澤田 博定 " 中央区北5条西29丁目-1  
 宮の森グランドハイツ709  
 笹川 勝治 " 南区13条西13丁目  
 坂本 一恵 雨竜郡沼田町本通4丁目3-6  
 宝出 幹雄 札幌市南区澄川4条1丁目6番1-402号  
 小澤 順衛 " 厚別区厚別南2丁目25 1-212  
 羽田野 富枝 " 北区あいの里1条3丁目3-12  
 佐々木 桂子 " 西区平和2条4丁目1-32  
 森田 和泉 石狩郡石狩町花川北5条2丁目78  
 小笠原 晴美 札幌市厚別区大谷地東3丁目4番6-1010  
 磐部 喬 " 中央区南27条西12丁目1番1-710  
 金 有也 " 厚別区厚別中央2条4丁目  
 9番25号  
 栗木 喜美子 " 南区真駒内柏丘5丁目3-6  
 児玉 照世 " 白石区平和通6丁目南796  
 林 光吉 岩見沢市6条東12丁目59番地  
 大野 みづほ 江別市大麻園町22-8 丹野ゆき方  
 平原 一良 札幌市南区澄川3条6丁目3-3-920  
 北城 光子 " 厚別区厚別西1条4丁目4-26  
 山下 賢司 " 中央区南17条西16丁目6-18  
 小山 桂江 " 西区福井3丁目3-5  
 浅井 節子 " 西区発寒6条11丁目6-8

## 6月会員

米田 正博 三石郡三石町東蓬菜  
 横本 須磨子 札幌市南区南35条西10丁目11-6  
 林 正子 " 東区伏古4-2-1-10-401  
 井田 真由美 " 中央区南12条西18丁目1-23  
 村中 幸子 " 東区北16条東13丁目  
 センチュリー村松101  
 羽田 幸子 " 中央区南10条西12丁目2-23  
 大野 清二 美唄市東4条北3丁目5-2  
 佐々木 啓子 帯広市東2条南13丁目  
 帯広マンション第1~302  
 大口 やよい 札幌市西区宮の沢2条2丁目1-10  
 山本 良久 " 白石区菊水元町5条3-4-16  
 三浦 隆儀 " 東区北33条東12丁目2番12号  
 碓井 恵美子 " 西区西野3条7丁目コープクローバー  
 神 祥子 " 厚別区音葉町11丁目13-6  
 岡崎 さえ子 " 東区北23条東22丁目6-8-308  
 岩田 幹子 " 北区屯田2条3丁目7-28  
 本間 和佳子 " 中央区南10条西16丁目3-31  
 正栄ハイツA-102  
 川又 厚子 " 中央区南12条西6丁目1-20-1103  
 小山 眠 " 北区あいの里1条4丁目6-17  
 岡崎 純子 " 西区八軒1条西2丁目5-22-201  
 藤山 道子 " 豊平区福住3条12丁目4-33  
 谷口 陽子 " 東区北22条東18丁目6-27

Catalog Calendar 1992

フランス大衆のなかに息づいたポスターが  
良き時代の雰囲気にお誘いします



- B3版／壁かけタイプ  
8枚つづり・解説つき
- 定価 1,030円（税込）
- 10月発売
- 100部以上申込は1部  
824円（税込）、名入れ  
など別途申し受けます
- 限定販売

北海道立近代美術館の売店でお求めください。

100部以上ご購入の場合は、名入れなどを含めて直接下記にお申込ください。  
(名入れの場合はカレンダー代金のほか5,000円を別に申し受けます。)

札幌市中央区北1条西17丁目 北海道立近代美術館内

社団法人 北海道美術館協力会 電話 644-4025